

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23013
課題名	「赤ちゃんにやさしい病院」での帝王切開時の早期母子接触の取り組みの評価
研究期間	西暦 2023 年 5 月 31 日 (実施許可日) ～ 2023 年 12 月 31 日
研究の対象	帝王切開時の SSC 導入後の評価として、2021 年 11 月と 2022 年 10 月に行ったアンケートに回答された方 (病棟スタッフ・手術室スタッフ、産科医師、新生児科医師、麻酔科医師)
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報 <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名：) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (業務上でスタッフに行った SSC 評価のためのアンケート)
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>旭川医科大学病院周産母子センターはユニセフと WHO が作成した「母乳育児成功のための 10 か条/母乳育児がうまくいくための 10 のステップ」に沿って母乳育児支援を行っており「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されています。</p> <p>早期母子接触は母子にとって必要不可欠な関わりであり母子の当然の権利といわれています。正期産児に限らず、また経膈分娩時のみでなく帝王切開時にも実施することが推奨されています。今回、安全な分娩を目指し多職種と連携しながら帝王切開時の早期母子接触を導入しました。</p> <p>本研究では、帝王位切開における早期母子接触の安全性の検討と今後の課題を明らかにすることを目的としています。</p>
研究の方法	<p>電子カルテから患者さんの基本情報(年齢、初経産、妊娠週数、術中出血量、児の出生体重)、手術中の記録や出産の記録より早期母子接触の実施状況、出産の振り返りの記録より患者さんの感想を収集します。</p> <p>早期母子接触開始後の評価についてスタッフ(医師、看護師、助産師)に行ったアンケートを使用して早期母子接触を評価します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>連絡先： 研究責任者 旭川医科大学病院 4 階東病棟 助産師 榎本 いずみ 0166-69-3740 (内線 3740・3741)</p>